

國學院大學學術情報リポジトリ

2016年度国際研究フォーラム「東アジアのグローバル化と宗教文化」報告書

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-06-28 キーワード (Ja): 162.2 キーワード (En): 作成者: 井上, 順孝 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.57529/0002000507 |

開催概要

國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所
2016年度国際研究フォーラム「東アジアのグローバル化と宗教文化」

- 【日時】 2016年10月16日（日）13:00～17:30
【場所】 國學院大學渋谷キャンパス学術メディアセンター1階常磐松ホール
- 【パネリスト】 川田 進（大阪工業大学）
井上 順孝（國學院大學）
Wei-hsian Chi（Academia Sinica, Taiwan）
Benjamin Penny（Australian National University, Australia）
- 【コメンテーター】 岩井 洋（帝塚山大学）
- 【司会】 櫻井 義秀（北海道大学）
- 【使用言語】 日本語、英語（一部同時通訳付）
【主催】 國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所
-

【登壇者紹介】

◆川田 進

大阪工業大学教授。専門は中国地域研究。1991年以降、中国四川省・青海省・新疆ウイグル自治区等でチベット仏教とイスラームに関する政教関係を調査。著書『東チベットの宗教空間』（北海道大学出版会、2015年）は、中国共産党の宗教政策、漢人のチベット仏教信仰等を論じたものである。

◆井上 順孝

國學院大學教授。日本文化研究所所長。専門は宗教社会学。近現代の宗教運動の比較研究、宗教文化教育の研究などを中心的に進めており、特にグローバル化、情報化が宗教に与える影響に強い関心を持っている。著書多数。近著に『〈日本文化〉はどこにあるか』（責任編集、春秋社、2016年）などがある。

◆ Wei-hsian Chi (齊 偉先)

中央研究院社会学研究所副研究員 (Academia Sinica, Institute of Sociology, Associate Research Fellow)。専門は宗教社会学、文化社会学、芸術社会学、社会学理論など。近現代の台湾における宗教、特に民俗宗教の変容を検討しており、その成果に“The Development and Cultural Characteristics of Local Religious Organization in Modern Taiwan: Its Main Distinction from Christianity,” *International Journal of Sino-Western Studies*, Vol. 5, 2013 などがある。

◆ Benjamin Penny (ベンジャミン・ペニー)

オーストラリア国立大学准教授、同大学 China in the World 研究所所長。専門は中国宗教史で、近代から現代にかけての中国の宗教運動、例えば法輪功や気功ブームなどについて検討してきている。代表的な著作に *The Religion of the Falun Gong*. Chicago: University of Chicago Press, 2012、また邦語論文に「歌と踊りにみる法輪功——大弾圧以後の法輪功の運営」(中牧弘允、ウエンディ・スミス編『グローバル化するアジア系宗教』東方出版、2012年、所収)がある。

◆ 岩井 洋

帝塚山大学教授、学長。専門は宗教社会学、経営人類学、キャリア教育など。経営という観点からアジアの宗教について考察を加えてきており、共著に『グローバル化するアジア系宗教』(中牧弘允、ウエンディ・スミス編、東方出版、2012年)、『アジア企業の経営理念』(三井泉編著、文眞堂、2013年)などがある。